

平成28年度

全国地域づくり人財塾

－ 課題解決編（フィールドワーク型）－

総務省では、「全国地域づくり人財塾」等の受講を経て地域づくりの実践を始めた方等を対象に、課題解決の糸口発見や更なる活動へのステップアップの場とするために、本講座を開催いたします。

地域づくり活動を見つめなおしたい方、「地域づくり人」として更なる実践を考えている方、全国の有志とのネットワークを構築したい方、是非ご参加ください。

熱い志を持つ全国からの参加者と熱く議論してみませんか。

日程：平成28年10月12日(水)～14日(金)[2泊3日]

テーマ：地域資源を活かした事業創造

講師：飯盛 義徳 慶應義塾大学SFC研究所 所長／総合政策学部 教授(総務省「人材力活性化研究会」座長)

会場：春蘭の里実行委員会(石川県能登町)、株式会社御祓川(石川県七尾市)

対象：地方公共団体職員又は地域づくりに取り組むNPO関係者等の皆様

※ 原則として、平成23～24年度「地域づくり人育成講座」、平成25～28年度「全国地域づくり人財塾」及び「全国地域づくり人財塾 IN 仙台」、平成24年度「『域学連携』地域づくり人育成支援事業」、平成25年度「地域づくり人育成支援事業」、平成26年度「地域コーディネーター育成研究事業」のいずれかの講座を受講済みの方を対象としています。

※ 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできません。事前課題として、地域の状況や課題、研修で学びたいことなどについて発表していただくプレゼン資料の作成(発表時間10分程度の分量、Microsoft社のPower Pointで作成)が必要となります。

定員：15人(受付は先着順となります。お申込み受付後、受講案内、事前課題の詳細をお送りします。)

宿泊：キャッスル真名井(穴水町)、ルートイン七尾駅東(七尾市) ※外泊不可。

経費：18,000円

※ 研修、宿泊、食事(1日目夕食、2日目朝食・昼食、3日目：朝食・昼食が含まれます。2日目夕食は交流会を予定(各自負担))等に係る費用が含まれております。

申込方法：申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。

※ 申込期限：平成28年9月30日(金)まで(その他別添申込要領をご参照ください。)

お問合せ

総務省 地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室

Tel.03-5253-5391

お申込み

(株)価値総合研究所 全国地域づくり人財塾係

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 Tel : 03-5205-7901 Fax : 03-5205-7922

Mail : zinzai@vmi.co.jp

■プログラム構成

1

【事前課題】現在の地域活動の状況・課題の整理

参加者が各地域で実践している地域づくり活動の状況、抱えている課題及び本研修で学びたいことについて事前にまとめていただき、当日発表していただきます。

2

【フィールドワーク】地域の取組の視察

実際に地域に赴き、地域の取組を関係者から伺います。

【フィールドワーク①春蘭の里実行委員会】 (石川県能登町)

それまで当たり前のように共生してきた豊かな自然を最大限に活かした村づくり・村おこしを目的に、地域の異業種7名で「春蘭の里実行委員会」を結成。農家民宿や廃校を活用した交流宿泊施設、小型風力発電や親水公園などを住民主導で整備。この地元の自然と文化を活かしたグリーン・ツーリズム型観光「春蘭の里」は、現在12集落にまたがり、30軒の農家民宿群を形成。1度に200人を受入れられ体制整備により、毎年1万人が訪れる里づくりを展開しています。ここでは地域資源の活かすポイント等を学びます。

【ホームページ：<http://shunran.info/>】

【フィールドワーク②株式会社御祓川】 (石川県七尾市)

石川県七尾市の中心部を流れる御祓川の「再生」と、その境界の賑わいづくりを目的とする株式会社御祓川は、民間出資のみで設立されたまちづくり会社。地域の資源を活かし守る「まち育て事業」、地域の経済循環を創り出す「みせ育て事業」、地域の担い手を育て続ける「ひと育て事業」を柱に、ヒトやモノをつなぎ、場をつくり、事業の「コーディネート」をしながら、小さくてもそこにある文化・思想・商品が世界に通用する「小さな世界都市・七尾」の実現に向け活動しています。ここではまちづくりのコーディネートのポイントを学びます。

【ホームページ：<http://www.misogigawa.com/>】

3

【グループワーク】課題の共有と解決糸口の発見

事前課題を、さまざまな地域から集う参加者間で共有し、代表的な課題をケーススタディとして取り上げ、多面的な視点から、その解決策をグループワーク形式(1グループ5名程度)で討議します。参加者間で議論を深め、課題解決の糸口を探します。

4

【成果発表】課題解決策と実行計画案の発表

各地域の課題について、グループワークで議論した解決策および地域での実行計画案を全体発表します。

※プログラムは都合により変更となる可能性があります。

■講師の紹介

■講師 慶應義塾大学SFC研究所 所長／総合政策学部 教授 飯盛 義徳 氏

地域づくりの第一人者である慶應義塾大学飯盛教授は、実践を通じて地域の元気の具体的方策を探究されています。その豊富なご経験と、先進事例の成功要因に基づいて、「リーダーの役割を果たす人材」のほか、「リーダーを支えるための人材」など地域づくりにおける人材力の観点から、参加者の皆さんが実践されている、地域づくり活動の課題についてアドバイスをいただきます。

■ご略歴

佐賀県生まれ。慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程修了。博士(経営学)。1987年、松下電器産業株式会社入社。富士通株式会社出向などを経て、1992年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程入学。1994年、同校修了後、飯盛教材株式会社入社。1999年、アントレプレナー育成スクールNPO法人鳳雛塾を設立。2002年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学。2005年、慶應義塾大学環境情報学部専任講師就任。2008年、慶應義塾大学総合政策学部准教授。2014年から現職。「域学連携」を各地で推進。総務省人材力活性化研究会座長、総務省過疎問題懇談会委員、総務省地域づくり懇談会委員などを務める。



■集合場所

10月12日(水) 11:00 JR金沢駅 新幹線改札口前集合

※昼食は済ませてお集まりください。

■プログラム詳細

■10月12日(水)【事前課題発表】

11:00-11:30 受付(JR金沢駅)

11:30 金沢駅出発(バスで移動)

13:30 到着

13:45 開講・オリエンテーション

14:00-18:30 【事前課題の発表・講評等】

①事前課題発表・講評

②グループワーク

※宿泊は「キャッスル真名井」(相部屋)



■10月13日(木)【フィールドワーク・グループワーク】

9:00-12:00 【フィールドワーク①】

・「春蘭の里(能登町)」を現地視察

13:30-15:30 【フィールドワーク②】

・「(株)御祓川(七尾市)」を現地視察

16:00-19:00 【グループワーク①】

フィールドワークを踏まえたグループワークを実施

【交流会】

※宿泊は「ルートイン七尾駅東」



■10月14日(金)【グループワーク・成果発表】

8:30-11:00 【グループワーク②】

課題解決策を検討し、地域に戻ってからの実行計画案を作成。

11:00-12:30 【発表・総括】

グループワークで作成した計画案の発表と講評

13:30-14:30 【総括講義・修了式】

15:00 七尾出発(バスで移動)

17:00 金沢駅解散



■特別講師の紹介

■講師 総務省 地域力アドバイザー 牧野 益巳 氏

総務省人材力活性化研究会構成員。日本マイクロソフトが行う、自治体、大学、NPOなどと連携して、地域のICTリーダーを育成しながら取り組む「地域活性化協働プログラム」のご経験を踏まえ、参加者の皆さんが実践されている、地域づくり活動の課題についてアドバイスをいただきます。

■現地講師 春蘭の里実行委員会事務局長 多田 喜一郎 氏

平成8年の春蘭の里実行委員会設立に参画。翌年、自宅を改装して民宿「春蘭の宿」を開業。各民宿月収40万を目指し、元気な高齢者がいる内に若者が戻って来れる地域づくりを進める。総務省地域力創造アドバイザー。

■現地講師 株式会社御祓川代表取締役社長 森山 奈美 氏

七尾生まれの七尾育ち。父親のまちづくり活動を子どもの頃から見続け、大学では「都市計画」を専攻。卒業後はまちづくりシンクタンクに就職。仕事で「株式会社御祓川」の計画書を書き、会社設立と同時に入社。平成19年から現職。